VersaPro

NEC

取扱説明書

タイプVX
タイプVB

本マニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、マウスの基本的な操作がひと通りでき、Windowsもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に書かれています。
本マニュアルでは、特にことわりのない場合、Windows® 7 Professional 32ビット with Service Pack 1 正規版をWindows 7と表記します。
また、設定やアプリケーションのインストールなどは、管理者(Administrator)権限を持ったユーザーで行ってください。「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。

本マニュアルの対象機種は、次のタイプおよび型番です。

・タイプVX ： VC25M/X-D、VG25M/X-D
・タイプVB ： VC17H/BB-D、VG17H/BB-D

1 添付品の確認 2
2 添付品の接続 2
3 Windowsのセットアップ 4
4 各部の名称 6
5 キーボード 9
6 NXパッド 9
7 LAN機能 10
8 無線LAN機能 12
9 メモリ 14
10 システム設定 14
11 アプリケーション 16
12 再セットアップ 21
13 付録 23

※:本マニュアルに記載のイラスト、画面、アイコン、画面中の文字は、実際のものと異なる場合があります。

1 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品が揃っていることを確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

1. 箱の中身を確認する

- □ 保修书 *1
- □ 安全使用说明 *1
- □ Instructions For Safe Use *2
- □ NEC软件的使用条件【即EULA】(对顾客的特别提示)
  (请务必先仔细阅读如下内容后, 决定是否打开本个人电脑的包装)*1
- □ Terms and Conditions for using software(For Customer)
  (Please read this before opening the package)*2

□ 本体	□ 電源コード
□ ACアダプタ	□ バッテリパック
□ Application Disc	□ Recovery Disc
□ 取扱説明書	

*1 : VC25M/X-D, VC17H/BB-Dの場合
*2 : VG25M/X-D, VG17H/BB-Dの場合

2. 本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

万一違っているときは、すぐにご購入元にご連絡ください。また保証書は大切に保管しておいてください。
保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

2 添付品の接続

接続するときの注意

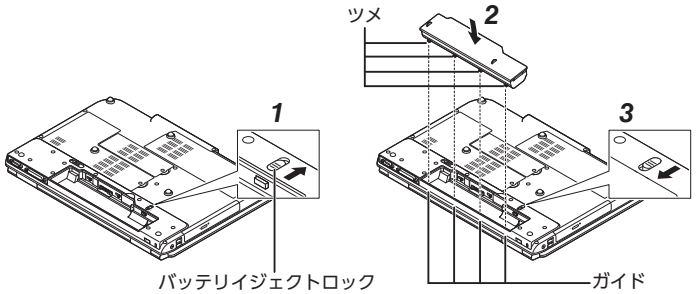
- **添付品の接続をするときは、コネクタの端子に触れない**
  故障の原因になります。
- **無線LAN機能がオフになっていることを確認する**
  工場出荷時の状態では、無線LAN機能はオフになっています。
- **Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから、LANケーブルを接続する。または、無線LAN機能をオンにする**
  本機を安全にネットワークに接続させるためです。

接続する

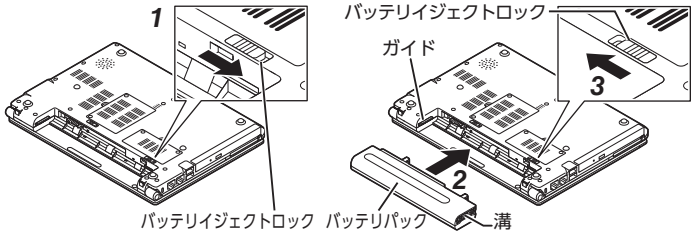
1. バッテリパックを取り付ける

次のイラストのように、バッテリパックを取り付けてください。

タイプVX

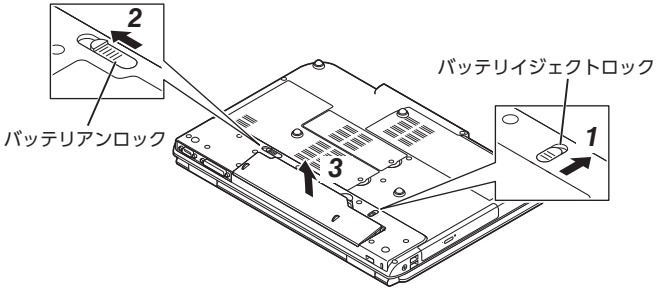


タイプVB

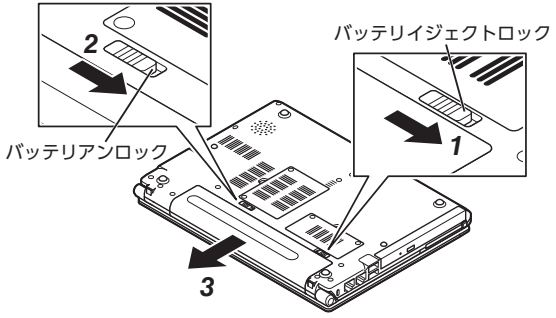


メモ　バッテリパックの取り外し方

タイプVX



タイプVB



2. ACアダプタを取り付ける

チェック!!

- ご購入直後は、必ず、バッテリを満充電してから使用してください。
- Windowsのセットアップが終わるまで、ACアダプタを抜かないでください。

1 **ACアダプタを電源コネクタ(⎓)に差し込む**

2 **電源コードをACアダプタに接続する**

3 **電源コードのもう一方のプラグをコンセントに差し込む**

ACアダプタを取り付けると、バッテリの充電が始まりバッテリ充電ランプ(▭)がオレンジ色に点灯します。

バッテリが満充電されるとバッテリ充電ランプ(▭)が消灯します。

バッテリの充電状態によってはバッテリ充電ランプ(▭)が点灯しない場合があります。これはバッテリが95%以上充電されているためです。

3 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsのセットアップの作業が必要です。

チェック!

Windowsのセットアップの途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、p.5「セットアップ中にトラブルが発生した場合」をご覧ください。

セットアップをするときの注意

- **マニュアルに記載されている手順通りに行う**
  手順を省略したり、画面で指示された以外のキーを押したり、スイッチを操作すると、正しくセットアップできないことがあります。
- **周辺機器は接続しない**
  「2 添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器(プリンタや増設メモリなど)の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器は、先に「3 Windowsのセットアップ」の作業を行った後、接続や取り付けを行ってください。
- **LANケーブルは接続しない、無線LAN機能はオフにする**
  本機を安全にネットワークへ接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから、LANケーブルを接続、および無線LAN機能をオンにしてください。
  また、無線LAN機能がオフになっていることを確認してください(工場出荷時の状態では、無線LAN機能はオフになっています)。
- **セットアップ中は放置しない**
  Windowsのセットアップが終了し、いったん電源を切るまでセットアップ中にキー操作が必要な画面を含め、本機を長時間放置しないでください。

セットアップを始める前の準備

Windowsのセットアップ中に本機を使う人の名前(ユーザー名)、コンピュータ名を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

チェック!

ユーザー名、コンピュータ名に2バイト文字や環境依存文字、記号を使用するとWindowsのセットアップが完了しない場合やアプリケーションが正しく動作しない場合があります。
そのため、ユーザー名、コンピュータ名には必ず半角英数字のみを使用し、記号、スペースは使用しないでください。また、20文字を超える長さにはできません。

電源を入れる

1 本機の液晶ディスプレイを開く

チェック!

液晶ディスプレイを開閉するときは、キーボード側の本体をしっかりと押さえてください。また、液晶画面に力を加えないように、枠の部分を持つようにしてください。

2 本機の電源スイッチ(⏻)を押す

セットアップの作業手順

Windows 7のセットアップを開始します。

チェック!

- 「Windows 7 Professional」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- セットアップ中に画面が一部黒く表示される箇所がありますが、動作上問題ありません。
- 手順1 ～ 3、6、7の設定内容についてはシステム管理者にお問い合わせください。

1 「Windows 7 Professional」の画面が表示されたら、「国または地域」、「時刻と通貨の形式」、「キーボードレイアウト」をそれぞれ設定し、「次へ」ボタンをクリック

2 ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されたら、ユーザー名、コンピューター名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

チェック!

ユーザー名とコンピューター名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

3 ユーザーアカウントのパスワードを設定する画面が表示されたら、パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

4 「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、内容を確認する

5 内容を確認後、「ライセンス条項に同意します」をチェックし、「次へ」ボタンをクリック

チェック!!

同意しない場合セットアップは続行できません。

6 「コンピューターの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください」と表示されたら、「推奨設定を使用します」、「重要な更新プログラムのみインストールします」、または「後で確認します」のいずれかを選択する

7 「日付と時刻の設定を確認します」と表示されたら、「タイムゾーン」、「日付」、「時刻」をそれぞれ設定し、「次へ」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

8 「電源を切ってください」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

9 「スタート」ボタンをクリック

10 「シャットダウン」ボタンをクリック

電源が切れます。

チェック!!

Windowsセットアップ完了後、15分程アイドル状態が続いたときにWindows エクスペリエンス インデックスの測定が実行されます。実行中は、電源プランが「高パフォーマンス」に変更され、その際にディスプレイの電源が切れる場合があります。

セットアップ中にトラブルが発生した場合

セットアップの画面が表示されない

初めて本機の電源を入れたときに、「Press〈F2〉to Enter BIOS Setup」と表示された場合は、次の手順に従ってください。

1 【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

2 数字キーで時間(24時間形式)を設定し【Enter】を押す

3 【Tab】や【↑】【↓】で項目を移動し、同様に分、秒、月、日、年(西暦)を順に設定する

4 【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 「Yes」を選択し、【Enter】を押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

6 【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

7 「Yes」を選択し、【Enter】を押す

BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

この後は、p.4「セットアップの作業手順」をご覧になり、作業を続けてください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

セットアップが正しく完了せず、Windowsのシステムファイルやレジストリが破損する可能性があります

Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して強制的に終了するいったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。その後、上記の「セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった」をご覧ください。

セットアップ後の操作、設定

複数のパーティションをご利用になる場合

工場出荷時において1台目の内蔵ハードディスクでお客様が利用可能な領域はCドライブのみの1パーティション(ボリューム)です。

Cドライブを分割して、複数のパーティションを利用することもできます。

工場出荷時の構成から、Cドライブを縮小して作成された未割り当ての領域に1つのパーティションを作成する場合は、次の手順で行います。

1 「コントロール パネル」を開く

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「管理ツール」をクリック

3 「コンピューターの管理」をダブルクリック

4 左側のツリーの「記憶域」→「ディスクの管理」をクリック

5 (C:)と表示されているボリュームを選択し、右クリック

6 「ボリュームの縮小」をクリック

7 「縮小する領域のサイズ (MB)」欄に任意のサイズを入力する

ここで入力するサイズが、新たに作成するパーティションの最大値になります。

8 「縮小」ボタンをクリック

9 ボリュームの縮小後に確保された未割り当て領域を選択し、右クリック

10 「新しいシンプル ボリューム」をクリック

11 「次へ」ボタンをクリック

12 「シンプル ボリューム サイズ (MB)」欄に任意のボリュームサイズを入力し、「次へ」ボタンをクリック

13 「次のドライブ文字を割り当てる」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

14 「このボリュームを次の設定でフォーマットする」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

15 「完了」ボタンをクリック

チェック!!

- 作成したパーティションに対して「パーティションをアクティブとしてマーク」を選択しないでください。
  パーティションをアクティブとしてマークすることは、そのパーティションのローダーを使用してオペレーティングシステムを起動することを意味します。
- 「回復パーティション」は、縮小することはできません。

メモ
- 必要に応じて、ドライブ文字を変更することもできます。
- 「ボリュームの縮小」は、環境によっては実施できない場合があります。「ボリュームの縮小」についての詳細は「コンピューターの管理」のヘルプ内の「ベーシック ボリュームを圧縮する」を参照してください。

参照 ディスクの管理の使用方法→『ディスクの管理』のヘルプ

「システム修復ディスク」の作成について

ファイルの破損などにより、セーフモードや前回正常起動時の構成を使用してもWindowsが正常に起動しないときに備え、あらかじめ「システム修復ディスク」を作成することをおすすめします。
「システム修復ディスク」の作成/使用方法は、Windowsのヘルプをご覧ください。

Windows® Update、またはMicrosoft® Updateについて

Windows® Update、またはMicrosoft® Updateでは最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。Windowsを最新の状態に保つために、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを定期的に実施してください。

チェック!!

本機には更新プログラムが適用されております。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますのでアンインストールを行わないでください。

Service Packについて

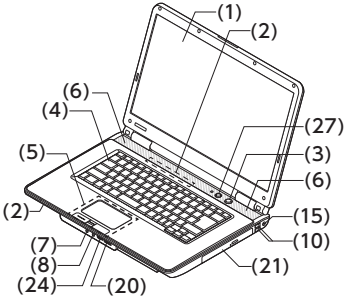
Windows 7 インストールモデルには「Windows® 7 Service Pack 1(SP1)」(以下、Windows 7 SP1)がインストールされています。
本機では、Windows 7 SP1をアンインストールすることはできません。

4 各部の名称

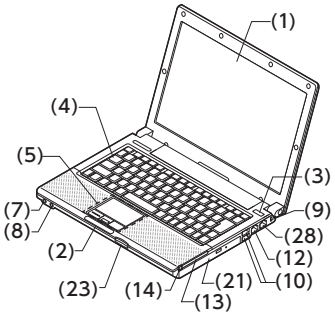
各部の名称と説明

◆ 本体前面／右側面

タイプVX

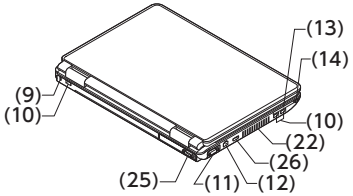


タイプVB

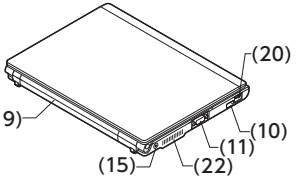


◆ 本体背面／左側面

タイプVX

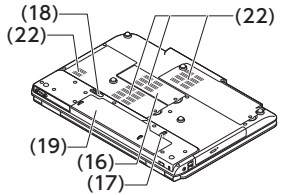


タイプVB

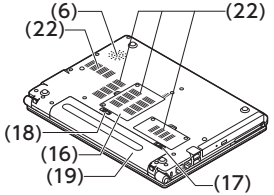


◆ 本体底面

タイプVX



タイプVB



◆ 各部の説明

番号	名　称	説　明
(1)	液晶ディスプレイ	本機のディスプレイです。
(2)	表示ランプ	本機の動作状態を表します。
(3)	電源スイッチ(⏻)	電源のオン／オフや電源状態の変更などで使用するスイッチです。
(4)	キーボード	文字の入力や画面の操作をします。
(5)	NXパッド	Windowsでマウスカーソルの移動やクリックなどの操作をする際に使用します。
(6)	スピーカ	内蔵のステレオスピーカです。
(7)	マイク入力(🎤)	市販のマイクロフォンを接続し、音声を入力するための端子です。
(8)	ライン/ヘッドフォン共用出力(🎧)	市販のヘッドフォンやオーディオ機器を接続し、音声を出力するための端子です。
(9)	盗難防止用ロック(🔒)	別売のセキュリティケーブルを取り付けることができます。
(10)	USBコネクタ(⇔)	USB機器を接続するコネクタです。本機のUSBコネクタは、USB 2.0とUSB 1.1の機器に対応しています。USB 2.0の転送速度を出すためには、USB 2.0対応の機器を接続する必要があります。
(11)	外部ディスプレイコネクタ(🖵)	市販のディスプレイやプロジェクタを接続し、本機の画面を出力するための端子です。
(12)	LANコネクタ(品)	LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するための端子です。
(13)	PCカードスロット	市販のPCカードを使用するためのスロットです。
(14)	PCカードイジェクトボタン	PCカードスロットから、PCカードを取り出すときに使用します。
(15)	DCコネクタ(⎓)	添付のACアダプタを接続するための端子です。
(16)	メモリスロット	別売の増設RAMボードを取り付けるためのスロットです。
(17)	バッテリイジェクトロック	バッテリパックが外れないように固定しているロックです。バッテリを取り外すときはここを操作します。
(18)	バッテリアンロック	バッテリパックを取り外す際に使用します。バッテリイジェクトロックを解除してから、ここを操作してください。
(19)	バッテリパック	AC電源が無い場所で本機を使用するための充電式電池です。
(20)	ワイヤレススイッチ(📶)	本機の無線LAN機能のオン／オフをするためのスイッチです。
(21)	光学ドライブ	DVDスーパーマルチドライブが内蔵されています(タイプVBでは光学ドライブを選択した場合)DVDなどのデータを読み出したり、DVD-RやCD-Rなどのディスクにデータを書き込むことができます。
(22)	通風孔	本体内部の熱を逃がすための穴です。 布や手などでふさがないようにしてください。
(23)	SDメモリーカードスロット(タイプVB)	「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」を読み書きするためのスロットです。
(24)	音量調節つまみ(🔊)(タイプVX)	内蔵スピーカや、ライン/ヘッドフォン共用出力()から出力される音量を調節するためのつまみです。本体右側に回すと音量が大きくなり、本体左側に回すと音量が小さくなります。また、押すことで音声のオン／オフを切り替えることができます。
(25)	シリアルポート(IOIOI)(タイプVX)	シリアルポート対応機器を接続するための端子です。
(26)	HDMIコネクタ(タイプVX)	HDMI対応の大画面テレビや、HDMI端子を持つ外部ディスプレイなどを接続するためのコネクタです。
(27)	ECOボタン(タイプVX)	本機のECOモード機能のモードを切り替えるためのボタンです。また、ECOボタンのランプの色で、設定した3つのモードのうち、どれを使用しているかがわかります。
(28)	電話回線用モジュラーコネクタ(タイプVB)	電話回線に接続し、データ通信などを行うための端子です。

表示ランプ

◆ 電源ランプ

ランプの状態		本機の状態
白(タイプVX)	点灯	電源が入っている
青(タイプVB)	点滅	スリープ状態
オレンジ	点灯	バッテリ容量が少ない
	点滅*1	スリープ状態でバッテリ容量が少ない
	速い点滅*2	バッテリ容量が残りわずか
消灯		電源が切れている、または休止状態

*1： 約3秒に1回点滅
*2： 約2秒に1回点滅

◆ バッテリ充電ランプ

ランプの状態		本機の状態
オレンジ	点灯	バッテリ充電中
	点滅	バッテリのエラー*1
消灯		ACアダプタが接続されていない、またはバッテリ充電完了

*1： バッテリ充電時のエラー、バッテリの寿命、または劣化時にエラーとなります。

◆ ディスクアクセスランプ

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	ハードディスクや光学ドライブにアクセス中
消灯	ハードディスクや光学ドライブにアクセスしていない

◆ キャップスロックキーランプ

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	【Caps Lock】がロックされている(英字を入力すると大文字になります。)
消灯	【Caps Lock】がロックされていない(英字を入力すると小文字になります。)

◆ スクロールロックキーランプ

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	【Scr Lock】がロックされている
消灯	【Scr Lock】がロックされていない

◆ ニューメリックロックキーランプ

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	【Num Lock】がロックされている(キーボードの一部をテンキーとして使用できます。)
消灯	【Num Lock】がロックされていない

◆ 無線LANランプ(タイプVXのみ)

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	無線LAN機能が使用可能
消灯	無線LAN機能が使用不可

◆ SDメモリーカードスロットアクセスランプ(タイプVBのみ)

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	SDメモリーカードスロットにセットしたメモリーカードにアクセス中
消灯	アクセスしていない

5 キーボード

キーの使い方

ホットキー機能(【Fn】の使い方)

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、本機の設定をキー操作で簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。

キー操作		機　能
タイプVX	タイプVB	
―	【Fn】+【F1】	音声のオン／オフ(ミュート機能)(🔇)
【Fn】+【F6】*1		ビープ音の調節(🔊)
【Fn】+【F8】*2	【Fn】+【F7】	輝度を下げる(▼☼)
【Fn】+【F9】*2	【Fn】+【F8】	輝度を上げる(▲☼)
―	【Fn】+【F9】	音量を下げる(🔉)
―	【Fn】+【F10】	音量を上げる(🔊)
【Fn】+【F12】	―	スクロールロック
―	【Fn】+【Scr Lock】	ニューメリックロック
【Fn】+【Pause】		Break
【Fn】+【Prt Scr】		システムリクエスト
―	【Fn】+【↑】	Page Up
―	【Fn】+【↓】	Page Dn
―	【Fn】+【←】	Home
―	【Fn】+【→】	End

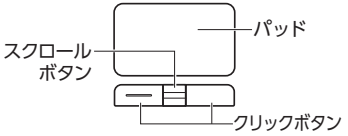
*1：本機の電源を切ったり、再起動を行った場合、設定した内容は解除されます。
*2：この操作を行った場合、輝度の自動調整はオフになります。

6 NXパッド

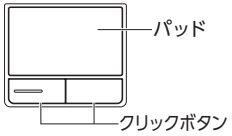
本機のNXパッドの使い方や拡張機能の設定、NXパッドのドライバを変更する方法などについて説明しています。

各部の名称と役割

タイプVX



タイプVB



各部の役割は、次の通りです。

名　称	役　割
パッド	ここを指先でなぞると、マウスポインタが動きます。
クリックボタン	左右2つのボタンがあります。左側のボタンは主に操作の決定などに使い、右側のボタンはマウスポインタが示す場所に関連するメニューを表示するときなどに使います。
スクロールボタン(タイプVX)	画面に内容を表示しきれないときに、スクロールボタンを押すことで画面の表示範囲を変え(スクロール)、隠れている部分を表示できます。

パッドを使用したスクロール／ズーム

パッドを使用して、画面を上下左右にスクロールさせたり、拡大／縮小させたりすることができます。

チェック!!

スクロールやズームの機能に対応していないアプリケーションでは使用できません。

◆ **パッドを使用してスクロールさせる**

スクロールバーが表示されているアプリケーションのウィンドウをクリックし、パッドの右端、または下端をなぞることで画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。

また、スクロール中にパッド上で円を描くように指を動かすことでもスクロールさせることができます(サークルスクロール機能)。

◆ パッドを使用して拡大／縮小を行う

拡大／縮小の操作を行いたいアプリケーションのウィンドウをクリックし、パッドの左端をなぞることで拡大／縮小を行うことができます(ズーム機能)。

チェック!!

工場出荷時の状態では、パッドを使用したズーム機能は無効に設定されています。

NXパッドの設定

NXパッドのボタンやポインタの動作、拡張機能の設定は「マウスのプロパティ」で行います。

1 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

3 「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

「マウスのプロパティ」の各タブをクリックし、NXパッドの設定ができます。

7 LAN機能

本機のLAN(ローカルエリアネットワーク)機能を使用する際の注意や設定などについて説明しています。

LAN機能の設定

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方法を簡単に説明します。

ネットワーク接続のセットアップ

「コントロール パネル」の「ネットワークとインターネット」－「ネットワークの状態とタスクの表示」－「アダプターの設定の変更」から設定してください。
詳細については、Windowsのヘルプをご覧ください。

続いて、コンピュータ名などの設定を行います。

接続するネットワークとコンピュータ名の設定

接続するネットワークに関する設定と、ネットワークで表示されるコンピュータ名を設定については、「コントロール パネル」の「システムとセキュリティ」－「システム」－「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」欄の「設定の変更」から設定してください。
詳細については、Windowsのヘルプをご覧ください。

以上でLANの設定は完了です。

リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能

本機におけるLANによるリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能は次の通りです。

- 電源の切れている状態から電源を入れる
- スリープ状態や休止状態からの復帰

リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を使うように本機を設定している場合、本機の電源が切れているときも、LANアダプタには通電されています。
管理者のパソコンから本機にパワーオンを指示する特殊なパケット(Magic Packet)を送信し、そのパケットを本機の専用コントローラが受信するとパワーオン動作を開始します。
これにより、管理者のパソコンが離れた場所にあっても、LANで接続された本機の電源を入れたり、スリープ状態や休止状態からの復帰をさせることができます。

チェック!!

- リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用するためには、管理者パソコンにMagic Packetを送信するためのソフトウェアのインストールが必要です。
- 前回のシステム終了(電源を切る、スリープ状態にする、休止状態にする)が正常に行われなかった場合、リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))を行うことはできません。一度電源スイッチを押してWindowsを起動させ、再度、正常な方法でシステム終了を行ってください。
- サポートする速度が1000Mbpsのみのハブではリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能は使用できません。10M/100M/1000M Auto-negotiation機能を搭載したハブを使用してください。
- リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を使用する場合は、必ずACアダプタを接続した状態で本機を休止状態または電源が切れている状態にしてください。

電源の切れている状態からリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用するための設定

電源が切れている状態からのリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用するには、次の設定を行ってください。

1. **本機の電源を入れて「NEC」ロゴの画面が表示されたら【F2】を数回押す**
   BIOSセットアップユーティリティが表示されます。
2. **「Advanced」メニューの「Remote Power On」を「Enabled」に設定する**
3. **【F10】を押す**
4. **「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す**
   設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が起動します。

以上で設定は完了です。

スリープ状態または休止状態からリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用するための設定

「デバイス マネージャー」の「ネットワーク アダプター」から設定してください。
詳細については、Windowsのヘルプをご覧ください。

ネットワークブート機能(PXE機能)

ネットワークから起動して管理者パソコンと接続し、次の操作を行うことができます。

- OSインストール
- BIOSフラッシュ(BIOS ROMの書き換え)
- BIOS設定変更

ネットワークからの起動が必要になった場合は、本機起動時に「NEC」ロゴの画面で【F12】を数回押すことでネットワークブートが可能になります。

チェック!!

- ネットワークブートを使用するには、BIOSセットアップユーティリティでの設定と、別途PXEに準拠した運用管理ソフトが必要です。
- 【F12】を押しても、ネットワークブートができないことがあります。この場合は、【F12】を押す間隔を変えてください。

ネットワークブートを使用する場合は、BIOSセットアップユーティリティで設定を行ってください。

1. **本機の電源を入れて「NEC」ロゴの画面が表示されたら【F2】を数回押す**
   BIOSセットアップユーティリティが表示されます。
2. **「Advanced」メニューの「Network Boot Agent」を「Enabled」に設定する**

以上でネットワークブートを使用するための設定は完了です。

8 無線LAN機能

無線LAN機能のオン／オフ

無線LAN機能のオン／オフを切り替えるには、次の方法があります。
- ワイヤレススイッチで切り替える
- 「ワイヤレス ネットワーク接続」で切り替える

チェック!!

オン／オフの設定は、電源を切った後も保存されます。

ワイヤレススイッチで切り替える

本機のワイヤレススイッチで、無線LAN機能のオン／オフを切り替えることができます。

「ワイヤレス ネットワーク接続」で切り替える

無線LAN機能のオン／オフは、「コントロール パネル」の「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センター」の「アダプターの設定の変更」から切り替えてください。
詳細については、Windowsのヘルプをご覧ください。

無線LANの設定と接続

チェック!!

ドライバのプロパティの「電源の管理」タブの設定は変更しないでください。

無線LANの設定をする

ここでは、ネットワーク名(SSID)を通知する無線LANアクセスポイントに接続する場合について説明します。
他の接続方法については、Windowsのヘルプをご覧ください。

1. 無線LAN機能がオンになっていることを確認する
2. 「コントロール パネル」の「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センター」をクリック
   「ネットワーク設定の変更」欄の「ネットワークに接続」をクリック
   ネットワーク名(SSID)の一覧が表示されます。
3. 接続する無線LANアクセスポイントのネットワーク名(SSID)をクリック
4. 「自動的に接続する」にチェックが付いていることを確認して、「接続」ボタンをクリック
5. 「セキュリティ キー」の入力を要求する画面が表示された場合は、接続先に設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力して、「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

PROSet/Wirelessご使用時の注意

- ユーザー名が半角英数字のユーザーで行ってください。
- PROSet/Wirelessのインストール、アンインストール、および設定の際は、「地域と言語」の設定を「日本語(日本)」に変更してください。
  インストール、アンインストール、および設定の完了後は、お使いの設定に戻していただいて問題ありません。

チェック!!

「地域と言語」の確認と設定は次の手順で行ってください。

1. 「コントロール パネル」の「時計、言語、および地域」－「地域と言語」をクリック
   - 「形式」が「日本語(日本)」以外の場合
     「日本語(日本)」を選択して、「適用」ボタンをクリックし、手順2に進んでください。
2. 「管理」タブをクリック
   - 「Unicode対応でないプログラムの現在の言語」が「日本語(日本)」の場合
     「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じてください。
     これで「地域と言語」の確認と設定は完了です。
3. 「システム ロケールの変更」ボタンをクリックし、「現在のシステム ロケール」で「日本語(日本)」を選択し、「OK」ボタンをクリック
4. Windowsを再起動する

これで「地域と言語」の確認と設定は完了です。

PROSet/Wirelessのインストール

本機の無線LANでは、PROSet/Wirelessを使用することで、Windows標準の無線LAN機能でサポートしていない認証機能(LEAPなど)をご利用になれます。

チェック!!

ネットワークの管理者向けの拡張機能を使用する場合は、ReadMe.txt (C:¥DRV¥WLINSEV¥UTILITY¥APPS¥ReadMe.txt)をご覧ください。

PROSet/Wirelessのインストールは次の手順で行います。

1. 使用中のアプリケーションがあれば、すべて終了させる
2. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック
3. 「名前」欄に「C:¥DRV¥WLINSEV¥UTILITY¥APPS¥Setup.exe /qn /forcerestart」と入力し、「OK」ボタンをクリック

チェック!!

- インストール中は画面に何も表示されません。
- インストール完了後は自動的にWindowsが再起動します。

以上でPROSet/Wirelessのインストールは終了です。

PROSet/Wirelessについて詳しくは、次の手順で表示されるヘルプをご覧ください。

◆ ヘルプの表示

1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「インテル PROSet Wireless」→「WiFi 詳細統計」をクリック
2. 「ヘルプ」メニュー→「詳細統計のヘルプ」をクリック

チェック!!

Ciscoのインフラストラクチャーへの無線管理機能を有効にしたい場合は、次の手順で設定してください。

1. 「コントロール パネル」の「ネットワークとインターネット」−「ネットワークと共有センター」をクリック
2. 「ワイヤレス ネットワークの管理」をクリックし、変更したいプロファイルをダブルクリック
3. 「接続」タブの「インテル 接続の設定を有効にする」にチェックを付けて、「構成」ボタンをクリック
4. 「シスコ オプション」をクリックし、「無線測定を有効にする」にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリック
5. 「OK」ボタンをクリック

PROSet/Wirelessのアンインストール

PROSet/Wirelessのアンインストールは次の手順で行います。

1. 使用中のアプリケーションがあれば、すべて終了させる
2. 「コントロール パネル」の「プログラム」−「プログラムのアンインストール」をクリック
3. 「インテル(R) PROSet/Wireless WiFi ソフトウェア」をクリック
4. 「変更」ボタンをクリック

チェック!!

「インテル(R) PROSet/Wireless WiFi ソフトウェア」画面が表示される場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。

5. 「削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
6. 「削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
   アンインストールが始まります。
7. アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

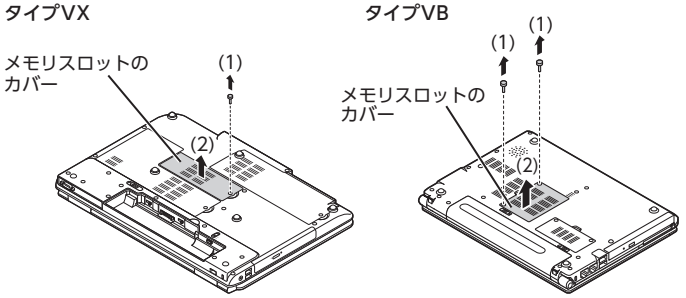
以上でPROSet/Wirelessのアンインストールは終了です。

9 メモリ

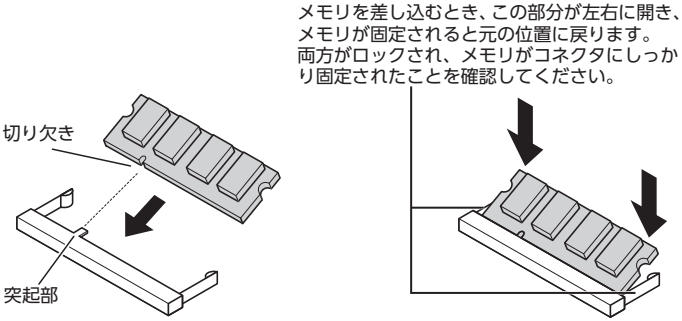
メモリの取り付け

1 バッテリパックを本体から取り外す

2 図のネジをプラスドライバーで取り外し、メモリスロットのカバーを取り外す



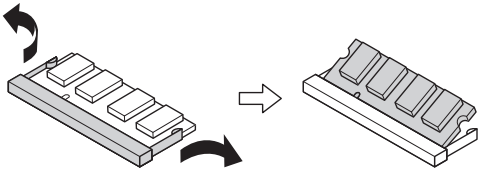
3 メモリの切り欠き部分を本体のコネクタの突起部に合わせ、メモリの端子が当たるまで挿入し、カチッと音がする位置までメモリを本体のコネクタに強く倒し込む



4 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本体底面に取り付ける

以上でメモリの取り付けは完了です。

メモ　メモリを取り外すときは、次のようにしてください。



10 システム設定

BIOSセットアップユーティリティ

チェック!!

BIOSセットアップユーティリティで設定を行っている間は、本機の電源スイッチで電源を切らないでください。また、BIOSセットアップユーティリティ終了後に電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切るか、設定を保存しても良い場合は「Exit」メニューから「Save Changes and Power Off」を選択して電源を切ってください。

BIOSセットアップユーティリティの起動

1 本機の電源を入れて「NEC」ロゴの画面が表示されたら【F2】を数回押す
BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

チェック!!

BIOSセットアップユーティリティが表示されない場合は、【F2】を押す間隔を変えてください。

BIOSセットアップユーティリティの基本操作

BIOSセットアップユーティリティの操作、設定はキーボードで行います。BIOSセットアップユーティリティで使用する主なキーについては次をご覧ください。

キー	機能・操作
【←】【→】	「Main」「Advanced」などのメニューバーの項目を選択します。
【↑】【↓】	• 設定項目を選択します。 • 設定可能な値を一覧表示している場合は、設定値を選択します。
【Enter】	• 現在の項目に設定可能な値を一覧表示し、選択するメニューを表示します。また設定値を決定しメニューを閉じます。 • ▶印が付いた設定項目でサブメニューを表示します。 • 「System Time」「System Date」で設定する桁を移動します。
【Esc】	サブメニュー表示時に、前の画面に戻ります。
【F9】	BIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻します。
【F10】	設定の変更を保存し、本機を再起動します。
【Tab】	「System Time」「System Date」で設定する桁を移動します。

工場出荷時の設定値に戻す

設定を工場出荷時の値に戻すときは、次の手順で行ってください。

1. **BIOSセットアップユーティリティを起動する**
2. **【F9】を押す**
   確認の画面が表示されます。
   中止したいときは【Esc】を押してください。
3. **「Yes」または「Ok」が選択されていることを確認して【Enter】を押す**
   工場出荷時の設定値を読み込みます。
4. **【F10】を押す**
   確認の画面が表示されます。

チェック!!

メニューバーの「Exit」で「Save Changes and Reset」または「Save Changes and Power Off」を選択し、BIOSセットアップユーティリティを終了することもできます。「Save Changes and Power Off」を選択した場合は、BIOSセットアップユーティリティ終了後に本機の電源が切れます。

5. **「Yes」または「Ok」が選択されていることを確認して【Enter】を押す**
   設定値が保存されて、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が起動します。

以上で設定は完了です。

ME BIOS Extension(タイプVB)

ME BIOS Extentionを使用する前に

ME BIOS Extensionで設定を行う前に、工場出荷時のパスワードからパスワードを変更する必要があります。次の手順でパスワードを変更してください。

チェック!!

- 工場出荷時のパスワードおよび運用管理ツールで利用するIDは「admin」に設定されています。
- 工場出荷時のパスワードが設定されたままの場合、パスワードの設定以外の設定の変更はできません。
- 工場出荷時のパスワードのままでは、第三者にインテル® AMTを利用されるおそれがあります。インテル® AMTを使用しない場合でも、パスワードを工場出荷時の設定から変更することをおすすめします。

1. **本機の電源を入れて「NEC」ロゴが表示された後、画面上に「Press <CTRL-P> to enter Intel(R) ME Setup」と表示されたら、【Ctrl】+【P】を押す**
   ME BIOS Extensionの「MAIN」メニューが表示されます。
2. **「Intel(R) ME Password」と表示されたら、「admin」と入力し【Enter】を押す**
3. **「Intel(R) ME New Password」と表示されたら、新しく設定するパスワードを入力し【Enter】を押す**
   パスワードは次の条件をすべて満たす「強固なパスワード」に設定してください。
   - 8文字以上32文字以下
   - 1文字以上のアルファベット小文字および大文字を含むこと
   - 1文字以上の数字(0 ~ 9)を含むこと
   - 1文字以上の特殊文字(例:!、@、#など)を含むこと

チェック!!

- 「"」「,」「.」「:」パスワードの文字として使用できません。

4. **「Verify Password」と表示されたら、もう一度同じパスワードを入力し【Enter】を押す**

ME BIOS Extensionの起動

1. **本機の電源を入れて「NEC」ロゴが表示された後、画面上に「Press <CTRL-P> to enter Intel(R) ME Setup」と表示されたら、【Ctrl】+【P】を押す**
   ME BIOS Extensionの「MAIN」メニューが表示されます。
2. **「Intel(R) ME Password」と表示されたら、ME BIOS Extensionのパスワードを入力し【Enter】を押す**

工場出荷時の設定値に戻す

ME BIOS Extensionの設定を工場出荷時の値に戻すときは、次の手順で行ってください。

チェック!!

次の手順を行っている際は、本機の電源を切らないでください。

1. **BIOSセットアップユーティリティを起動する**
2. **「Advanced」メニューの「Intel Feature Configuration」で、「Intel(R) ME BIOS Extension」を「Enabled」に設定する**
3. **「Unconfigure ME」を「Enabled」に設定する**
4. **【F10】を押す**
   確認の画面が表示されます。
5. **「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す**
   設定値が保存されて、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。
6. **再起動後、画面に「Countinue with unconfiguration (Y/N)」と表示されたら【Y】を押す**
   「Intel(R) ME unconfiguration in progress」と表示され、設定値を工場出荷時に戻す処理が始まります。
   処理が完了すると本機が再起動します。

これで設定は完了です。

11 アプリケーション

バッテリ・リフレッシュ&診断ツール

「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」を使用することで、バッテリリフレッシュと性能診断、バッテリリフレッシュと診断の自動実行ができます。

バッテリ・リフレッシュ&診断ツールの起動

バッテリ・リフレッシュ&診断ツールの起動は次の手順で行います。

1. **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」→「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」をクリック**
2. **バッテリリフレッシュや性能診断についての概要を説明する画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック**

メモ
- 「起動時にこの画面を表示しない」にチェックを付けてから「次へ」ボタンをクリックすると、概要説明画面を次の起動時から表示しなくなります。
- 概要説明画面は、「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」を起動して、「はじめにお読みください」ボタンをクリックしても表示されます。

バッテリ・リフレッシュ&診断ツールや診断結果については、バッテリ・リフレッシュ&診断ツールを起動し、「ヘルプ」ボタンをクリックすると表示されるヘルプをご覧ください。

バッテリリフレッシュと性能診断を実行する

バッテリリフレッシュと性能診断は、次の手順で行います。

チェック!!

バッテリリフレッシュと性能診断を行う場合には、本機にバッテリとACアダプタが接続されている必要があります。

1. **「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」を起動する**
2. **「開始」ボタンをクリック**
   確認画面が表示されます。
3. **内容を確認し、「はい」ボタンをクリック**
   バッテリリフレッシュが開始されます。
   バッテリリフレッシュ終了後、性能診断が行われます。

メモ 確認画面、および実行中の画面で「終了後、自動的にスリープ状態にする」にチェックを付けると、バッテリリフレッシュと性能診断が終了した後、本機がスリープ状態になります。

チェック!!

- バッテリリフレッシュを中断する場合は、「中止」ボタンをクリックし、画面の指示に従ってください。また、バッテリリフレッシュを中断した場合、性能診断は行われません。
- 「バッテリ状態」に「劣化」と表示された場合、バッテリパックの交換をお勧めします。
- 「バッテリ状態」に「警告」と表示された場合、バッテリパックを交換してください。また、バッテリパックへの充電やバッテリリフレッシュは、安全のため行えなくなります。

アンインストール

「コントロール パネル」－「プログラム」－「プログラムのアンインストール」から「Battery tool」を選択し、「アンインストール」をクリックしてください。
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

再インストール

アンインストールした「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を再インストールする場合は、次の手順で行います。

1. 光学ドライブに「Application Disc」をセットする
2. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック
3. 「名前」に「D:¥NECBATT¥Setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリック

メモ 光学ドライブがDドライブ以外の場合は、先頭の「D」を、お使いの環境の光学ドライブのドライブ文字に置き換えて入力してください。

4. 「Welcome to the Battery tool Setup Wizard」と表示されたら、「Next」ボタンをクリック
5. 「Battery tool Files in Use」画面が表示された場合は、「NEC Battery Refresh Utility-Scheduler (Process Id: XXXX)」をクリックし、「Continue」ボタンをクリック
6. 「Installation Complete」画面が表示されたら、「Close」ボタンをクリック
7. 再起動を促すメッセージが表示された場合は、光学ドライブから「Application Disc」を取り出し、画面の指示に従って再起動する

チェック!!

メッセージが表示されない場合は、光学ドライブから「Application Disc」を取り出し、Windowsを再起動してください。

以上で「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」の再インストールは完了です。

ハードディスクのデータ消去

ハードディスクのデータ消去について

本機のハードディスクのデータを消去することができます。
ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。
このメニューを選択すると、OS標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。
本機を譲渡、または廃棄する場合にご利用ください。

チェック!!

ハードディスクのデータ消去を実行する前にBIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。

ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

- Simple mode(1回消去)
  ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。
- NSA-introduced mode(3回消去)
  米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みを行い、3回消去を行うことで、より確実に消去できます。ただし、3回書き込みを行うため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。
- DoD-introduced mode(3回消去+検証)
  米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みを行い、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去を行うことで、より確実に消去できます。

なお、この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。

ハードディスクのデータを消去する

チェック!!

周辺機器(光学ドライブを除く)を取り外してご購入時と同じ状態にしてください。

1. 本機の電源を入れる
2. 電源ランプがついたら、すぐに「Application Disc」を光学ドライブにセットする
3. 「Press any key to boot from CD or DVD...」と表示されたら、【Enter】を押す
4. 「Windows 再セットアップ」画面が表示されたら、「ハードディスクのデータを消去する」を選択し、【Enter】を押す

5 「ハードディスクのデータを消去します。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

6 データを消去するハードディスクを選択し、「Next」ボタンをクリック

7 データの消去方式を選択して、「OK」ボタンをクリック

8 「Starting to erase HDD data. Is it OK?」と表示されたら、「Yes」ボタンをクリック

9 「Completed」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

10 光学ドライブから「Application Disc」を取り出し、【Enter】を押す

以上でハードディスクのデータ消去は終了です。

ECOモード設定ツール(タイプVX)

3つの省電力設定から利用シーンにあわせて、最適な設定に切り替えることができます。設定の切り替えは、ECOボタン、または設定したホットキーでキーボードから簡単に行うことができます。

モードを切り替える

工場出荷時の設定では、ECOモード機能で切り替えることのできるモードには次の3つがあり、「Standard」(ECOボタンのランプは水色)が選択された状態になっています。

モード	ECOボタンのランプの色	通知領域のアイコンおよび色	説　明
High Speed	青	(青)	CPU速度を高速に保ち、時間が経過してもスリープ状態に移行しないモードです。電源プランは「HighSpeed」が割り当てられており、液晶ディスプレイの輝度は5に設定されています。
Standard	水色	(水色)	本機の速度を優先させる設定ですが、操作がない状態で一定の時間が経過した場合、スリープ状態に移行します。電源プランは「Standard」が割り当てられており、液晶ディスプレイの輝度は5に設定されています。
ECO	緑	(緑)	電力をもっとも節約する設定で、Standardよりも早い時間でスリープ状態に移行します。電源プランは「ECO」が割り当てられており、液晶ディスプレイの輝度は2に設定されています。

ECOボタンまたは設定したホットキーを押すと、設定されているモードが表示され、以後、ECOボタンまたは設定したホットキーを押すごとに、モードが切り替わります。現在のモードは、ECOボタンのランプの色、またはタスク バーの通知領域の▲をクリックすると表示されるアイコンで確認できます。

チェック!

- 表中のアイコンは工場出荷時の設定のものです。実際に表示されるアイコンはモードに割り当てている電源プランにより異なります。
- Windowsのログオン画面が表示されている場合、ECOボタン、または設定したホットキーを押してもモードは変更されません。
- 電源を入れたときや、スリープ状態、休止状態から復帰した場合、Windowsにログオンするまではボタンのランプは点灯しません。
- 省電力を優先する電源プランを割り当てているモードを選択している場合、DVDの再生などの映像を表示するアプリケーションで、再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「HighSpeed」などの性能を優先するモードを選択してください。

ECOモード機能の設定

◆ モードの設定の変更

ECOモード機能で切り替える各モードの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ECOモード設定ツール」→「ECOモード設定ツール」をクリック

2 表示される画面で設定を行う

- 電源プラン
  それぞれのモードに割り当てる電源プランを選択します。
- 「詳細設定」ボタン
  モードごとの電源プランをカスタマイズできます。
  また、輝度の自動調整機能のオン／オフや自動で調整される輝度の範囲を設定することができます。
  「詳細設定」画面の「初期設定に戻す」ボタンをクリックすることで、各モードの設定を工場出荷時の状態に戻せます。
- 「初期設定に戻す」ボタン
  3つのモードと電源プランの組み合わせを、工場出荷時の設定に戻します。

3 「OK」ボタンをクリック

チェック!

- ECOボタンの各モードに設定している電源プランを削除した場合、削除した電源プランを選択していたモードには「設定なし」が設定されます。
- 「初期設定に戻す」ボタンで工場出荷時の設定に戻したときに、工場出荷時の設定で使用している電源プランが削除されていた場合も「設定なし」が設定されます。

◆ ホットキーの設定

ECOボタンとは別に、モードの切り替えに使用するホットキーを1つ設定できます。
ホットキーの設定は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ECOモード設定ツール」→「ECOモード設定ツール」をクリック

2 「ホットキーの設定」ボタンをクリック

3 使用するホットキーを選択し、「OK」ボタンをクリック

メモ
- ホットキーには、次のキーが設定できます。
  - 【Alt】+【F1】～【F3】
  - 【Alt】+【F5】～【F12】
  - 【Ctrl】+【F1】～【F12】
- 「初期設定に戻す」ボタンをクリックすると、ホットキーの設定を工場出荷時の状態に戻します。

アンインストール

「コントロール パネル」−「プログラム」−「プログラムのアンインストール」から「ECO Mode Utility」を選択し、「アンインストール」をクリックしてください。
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

再インストール

アンインストールした「ECOモード設定ツール」を再インストールする場合は、次の手順で行います。

1 光学ドライブに「Application Disc」をセットする

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

3 「名前」に「D:¥NPSpeed¥EcoMode_Setup.bat」と入力し、「OK」ボタンをクリック

メモ 光学ドライブがDドライブ以外の場合は、先頭の「D」を、お使いの環境の光学ドライブのドライブ文字に置き換えて入力してください。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

4 「Installation Complete」画面が表示されたら、光学ドライブから「Application Disc」を取り出し、「Close」ボタンをクリック

5 再起動を促すメッセージが表示されたら、「Yes」ボタンをクリック
自動的にWindowsが再起動します。

以上でECOモード設定ツールの再インストールは完了です。

DVD/CDパワースイッチ(タイプVB)

タスク バーの通知領域のアイコンから、内蔵の光学ドライブの電源のオン／オフを切り替えることができます。

チェック!!
光学ドライブを内蔵しているモデルのみ使用できます。

アンインストール

「コントロール パネル」−「プログラム」−「プログラムのアンインストール」から「DVD/CD Power Switch」を選択し、「アンインストール」をクリックしてください。
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

再インストール

1 Windowsを起動する

2 光学ドライブに「Application Disc」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に「D:¥OddPowerSwitch¥Setup_NOHK.cmd」と入力し、「OK」ボタンをクリック

メモ 光学ドライブがDドライブ以外の場合は、先頭の「D」を、お使いの環境の光学ドライブのドライブ文字に置き換えて入力してください。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「Installation Complete」画面が表示されたら、光学ドライブから「Application Disc」を取り出し、「Close」ボタンをクリック

6 再起動を促すメッセージが表示されたら、「Yes」ボタンをクリック
自動的にWindowsが再起動します。

以上でDVD/CDパワースイッチのインストールは終了です。

HDD anti-shock tool(タイプVB)

HDD anti-shock toolを使うと、本体の落下などによる加速度や振動を検知センサーが感知した場合に、ハードディスクのヘッドを安全な場所に退避させるのでハードディスク損傷の危険性を軽減することができます。
また、HDD anti-shock tool setting utilityでは、HDD anti-shock toolのハードディスク保護機能を一時的に無効にしたり、検知センサーの感度を調節することができます。

●機能の詳細や操作方法、制限事項
HDD anti-shock toolヘルプ(「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「HDD anti-shock tool」→「Help」をクリック)

◆ 起動方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「HDD anti-shock tool」→「HDD anti-shock tool」をクリック
「HDD anti-shock tool setting utility」画面が表示されます。

使用上の注意

- HDD anti-shock toolはパソコン本体の傾き・落下・衝撃を検出するとハードディスクのヘッドを退避し、ハードディスクが損傷する危険性を軽減するものです。ただし、ハードディスクの無破損・無故障を完全に保証するものではありませんので、重要なデータはこまめにバックアップをとることをおすすめします。
- 衝撃を感知するとハードディスクのヘッドを退避するため、パソコンを操作することができません。ヘッドの退避が解除されるまでしばらくお待ちください。
- HDD anti-shock toolのインストールまたはアンインストールの際は、「地域と言語」の設定を「日本語(日本)」に変更してください。
インストールまたはアンインストールの完了後は、お使いの設定に戻していただいて問題ありません。

チェック!!

「地域と言語」の確認と設定は、次の手順で行ってください。

1 「コントロール パネル」の「時計、言語、および地域」－「地域と言語」をクリック
2 「管理」タブをクリック
- 「Unicode 対応でないプログラムの現在の言語」が「日本語(日本)」の場合「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じてください。
これで「地域と言語」の確認と設定は完了です。

3 「システム ロケールの変更」ボタンをクリックし、「現在のシステム ロケール」で「日本語(日本)」を選択し、「OK」ボタンをクリック
4 Windowsを再起動する

これで「地域と言語」の確認と設定は完了です。

インストール

1 Windowsを起動する
2 光学ドライブに「Application Disc」をセットする
3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック
4 「名前」に「D:¥HDSaver¥setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリック

メモ 光学ドライブがDドライブ以外の場合は、先頭の「D」を、お使いの環境の光学ドライブのドライブ文字に置き換えて入力してください。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「InstallShield Wizard Completed」と表示されたら、「Finish」ボタンをクリック
6 「HDD anti-shock tool Installer Information」画面で「No」ボタンをクリック
7 光学ドライブから「Application Disc」を取り出し、Windowsを再起動する

チェック!!

HDD anti-shock toolをはじめて利用する前に、検知センサーの初期化をする必要があります。検知センサーの初期化が完了するまでは、ハードディスク保護機能は有効となりません。
検知センサーの初期化については、HDD anti-shock toolヘルプをご覧ください。

以上でHDD anti-shock toolのインストールは終了です。

アンインストール

「コントロール パネル」－「プログラム」－「プログラムのアンインストール」から「HDD anti-shock tool」を選択し、「アンインストール」をクリックしてください。
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

12 再セットアップ

再セットアップの準備

ここでは、再セットアップをする前の準備について説明しています。再セットアップする前に必ずお読みください。

必要なものをそろえる

DVDから再セットアップする場合、次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

- Application Disc
- Recovery Disc

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行う前に残しておきたいデータがある場合は、データのバックアップをとってから再セットアップしてください。

チェック!

マルチユーザーでお使いの場合は、それぞれのユーザー名でログオンし、データのバックアップをとってください。

使用環境の設定を控える

再セットアップを行うとBIOSセットアップユーティリティの設定やネットワークの設定など、再セットアップ後にはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

BIOSセットアップユーティリティの設定値を元に戻す

再セットアップを行う前にBIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。

再セットアップ時の注意

再セットアップするときには必ず次の注意事項を守ってください。

マニュアルや再セットアップ画面に記載されている手順通りに行う

再セットアップするときは、必ず本マニュアルや再セットアップ画面に記載されている手順を守ってください。手順を省略したり、画面で指示された以外のキーを押したり、スイッチの操作をすると、正しく再セットアップできないことがあります。

チェック!

「コントロールパネル」の「回復」にある「高度な回復方法」の「Windowsの再インストール」は本機では使用できません。本機の再セットアップは本マニュアルに記載されている手順で行ってください。

ACアダプタを接続する

バッテリ駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続してください。

無線LAN機能をオフにする

無線LAN機能がオフになっていることを確認してください。無線LAN機能がオンになっている場合は、再セットアップの前にオフにしてください。

周辺機器を取り外す

周辺機器を取り外して、ご購入時と同じ状態にしてください(再セットアップに使用する光学ドライブを除く)。

チェック!

本機にLANケーブルが接続されている場合は、再セットアップを開始する前にいったん取り外してください。

再セットアップは途中でやめない

いったん再セットアップを始めたら、再セットアップの作業を絶対に中断しないでください。万が一再セットアップの作業を中断してしまった場合は、正しく再セットアップされていない可能性があるので、再セットアップを最初からやり直してください。

再セットアップができないとき

「再セットアップをすることはできません。」の旨のメッセージが表示された場合は、機種情報が書き換わっている可能性があります。弊社修理受付窓口にご相談ください。

再セットアップ中は長時間放置しない

再セットアップが終了し、いったん電源を切るまで、再セットアップ中にキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

本機の再セットアップ

本機を再セットアップします。

チェック!!

必ず本機の電源が切れている状態から作業を行ってください。

ハードディスクから再セットアップする

1. 本機の電源を入れる
2. 「NEC」ロゴの画面が表示されたら、「NEC」ロゴの画面が消え「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】をくり返し押す

チェック!!

再セットアップ画面が表示されずに通常のWindowsデスクトップ画面が表示されてしまった場合は、いったん電源を切り、【F11】を押すタイミングを変えて手順1からやり直してください。

3. 「Windows 7(32ビット)の再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す
4. 「Windows 再セットアップ」画面が表示されたら、「再セットアップを開始する」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。
次に「Windowsの設定をする」(右記)へ進んでください。

DVDから再セットアップする

1. 本機の電源を入れる
2. 電源ランプがついたら、すぐに「Application Disc」を光学ドライブにセットする
3. 「Press any key to boot from CD or DVD...」と表示されたら、【Enter】を押す
4. 「Windows 再セットアップ」画面が表示されたら、「Recovery Discを使用して再セットアップを開始する」を選択し、【Enter】を押す
5. 「Windows 7(32ビット)の再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。
次に「Windowsの設定をする」(右記)へ進んでください。

Windowsの設定をする

Windowsのセットアップを行います。

Windowsのセットアップ

「Windowsのセットアップ」(p.4)をご覧になり、Windowsのセットアップを行ってください。

チェック!!

Windowsのセットアップが終了したら、いったん電源を切った後、必要に応じて各種の設定などを行ってください。

次に「ご購入後に行った設定をやり直す」へ進んでください。

ご購入後に行った設定をやり直す

ご購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなります。再度、設定し直してください。別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。

次に「再セットアップ後の状態について」へ進んでください。

再セットアップ後の状態について

本機に添付していたアプリケーションやご購入後にインストールしたアプリケーション、作成されたデータは復元されません。再インストールしてください。

以上でWindows 7の再セットアップは終了です。

13 付録

仕様一覧

タイプVX

型名		VC25M/X-D VG25M/X-D
CPU*20		インテル® Core™ i5-2520M プロセッサー*2*14
最大メモリ(メインメモリ)		8GB [SO-DIMMスロット×2]*28
電源		リチウムイオンバッテリ(M)(DC:11.1V、Typ.1600mAh*49)(バッテリパックは消耗品です)、リチウムイオンバッテリ(L)(DC:11.1V、Typ.4000mAh*49)(バッテリパックは消耗品です)またはご利用の地域の仕様に対応(ACアダプタ経由)[ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全規格を取得していますが、添付の電源コードはご利用の地域の仕様に対応しています。ご利用の地域以外で使用する場合は、別途電源コードが必要です]
消費電力 (最大構成時)	Windows® 7 Professional 32ビット版	約90W
外形寸法(突起部含まず)*6		378(W)×266(D)×40.5(H)mm
質量(バッテリ含む)*8		約2.7kg

注釈については、右記をご覧ください。

タイプVB

型名		VC17H/BB-D VG17H/BB-D
CPU*20		インテル® Core™ i7-2637M プロセッサー*2*14
最大メモリ(メインメモリ)		8GB [SO-DIMMスロット×2]*28
電源		バッテリパック(M)(リチウムイオン)(DC:10.8V、Typ.3350mAh*49)(バッテリパックは消耗品です)、バッテリパック(M)(リチウムイオン)(DC:10.8V、Typ.6700mAh*49)(バッテリパックは消耗品です)またはご利用の地域の仕様に対応(ACアダプタ経由)[ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全規格を取得していますが、添付の電源コードはご利用の地域の仕様に対応しています。ご利用の地域以外で使用する場合は、別途電源コードが必要です]
消費電力 (最大構成時)	Windows® 7 Professional 32ビット版	約65W
外形寸法(突起部含まず)*6		292(W)×223(D)×29.8(H)mm
質量(バッテリ含む)*8		約1.17kg

注釈については、右記をご覧ください。

注釈

＊ 2 ： ハイパースレッディング・テクノロジーに対応します。
＊ 6 ： ゴム足部などの突起部は除きます。
＊ 8 ： PCカードは未装着です。タイプVBではSDメモリカード、DVDスーパーマルチドライブも未装着です。
＊ 14 ： 拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジーを搭載しています。
＊ 20 ： 使用環境や負荷によりCPU動作スピードを変化させる制御を搭載しています。
＊ 28 ： 最大8GBのメモリを搭載可能ですが、32ビット版OSではすべての領域を使用することはできません。メモリ4GB以上搭載時でもOSが使用可能な領域は約3GBとなります。なお、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。
＊ 49 ： 公称容量（実使用上でのバッテリパックの容量）を示します。

ご注意

(1) 本マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本マニュアルの内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、または121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているOSおよび本製品に添付のDVD-ROM、CD-ROMは、本製品のみでご使用ください。
(7) ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(8) 本マニュアルに記載されている内容は、製作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

Microsoft、Windows、およびInternet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
インテル、Intel、Intel SpeedStepおよびインテル Coreはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
HDMI、High-Definition Multime Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

取扱説明書
タイプVX
タイプVB

初版 2011年 12月
©NEC Personal Computers, Ltd. 2011
NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
853-810602-416-A
Printed in China

810602416A